

## 第3回稲毛区地域福祉計画推進協議会議事要旨

### 【1】開催

日 時：平成22年11月27日（土）午後1時30分～午後3時

場 所：稲毛保健福祉センター 3階 大会議室

出席者：委員16名（32人中）

事務局9人（高齢障害支援課4人、千葉市社会福祉協議会稲毛区事務所3人）地域福祉課2人

### 【2】次第

1 開会

2 委員長挨拶

- 3 議題（1）稲毛区地域福祉計画の実践状況について  
（2）第2期稲毛区地域福祉計画の素案について  
（3）広報紙について  
（4）その他

4 閉会

### 【3】議事の要旨及び発言要旨

#### 議題（1）稲毛区地域福祉計画の実践状況について

稲毛区高齢障害支援課日暮高齢支援係長から、区内の町内自治会の活動状況について、地域振興課経由で照会、回答いただいたものについて説明。

主な発言内容は以下のとおり。

（委員） 回答が78団体とあるが、全部で何団体あるのか。

（事務局） 稲毛区にある自治会は180の自治会があり、回答に協力していただいた自治会が148あり、それをもとに作成した資料です。

（委員） うちではここにあげられている活動をほとんどやっているが、ダブって活動している団体のチェックがあればよかった。またこども110番の家は育成委員会がやっていると思う。自治会単位か確認してほしい。

（事務局） 本日の資料では量が非常に多くなってしまうので、従来の形の資料にしました。

（事務局） この調査ですが、区の地域振興課を通じて調査をお願いしましたが、いただいた資料の様式をさだめていないので、総会の資料での回答であるとか、提出いただいたものがばらばらの状態でした。ですので、そこから拾い出したもの

です。ですのでを網羅できていない部分があることをご理解いただきたいと思  
います。

(委員) いきいきサロンなどは地区部会単位で行なっていて、地区部会の中には自治  
会も含まれているので、ここにあげられている数字は少ないと感じたので質問  
してみました。

(事務局) この実績状況については、地域振興課とも協議しながら、委員の皆様のご意  
見もいただきながら、この推進協の中で進めていきたいと思しますので、参考  
資料ということをお願いします。

(委員長) 参考資料ということでしたが、できるだけ使える資料にブラッシュアップし  
ていくことが必要かと思う。

(委員) アンケートをとるときに、自治会だけでやっているものとして行なったのか、  
地域でおこなっているものとしてとったのか。地域の中ではなかなかはっきり  
分けることが難しいものもある。今後は地域の中で行なっているものはどうい  
うものかとして調べたほうが良くわかるのではないか。

(事務局) 今後、地域振興課のほうとも相談して、資料を作成していきたいと思いま  
す。

(委員長) いま、計画の見直しをしています。それだけのためではなく来年度以降で  
もどの地区でどんな取り組みを行なっているか参考にしたいときにも使えるよ  
うなものにできたらと思う。

本日欠席の委員さんから、ぜひお伝えして欲しいということがありました。

ファミリーハイツの中にあつたヤックスやそのほかの商店が閉店してしばらく  
経つけれども、NPO法人が主体となって空き店舗を利用した活動を始めて  
います。色んな商業施設を誘致したり、コミュニティの拠点としてオープンし  
ているという事例があります。現時点では、採れたての地元野菜のお店、その  
野菜を使ったレストラン、マッサージ店、パソコン修理・指導のお店、乳幼児  
の遊び場などがあります。名前がオークヒルとして行なっているそうです。N  
P Oの代表の方は、このオークヒルをひとつのモデルとして、他の地区にも広  
げていけたらと考えているそうです。現在試行錯誤の段階ですが、ぜひお越し  
くださいとのことです。

## 議題（２）第２期稲毛区地域福祉計画の素案について

引続き、日暮高齢支援係長及び、千葉市社会福祉協議会鈴木稲毛区事務所長より作業部  
会で話合われた次期計画の素案について説明。

説明後、質疑応答が行われた。主な発言内容は以下のとおり。

- (委員長) この素案については、まだすべての部分に対して見直しが終わったわけではなく、この後に作業部会が必要な部分もある状態になっています。
- (委員) 作業部会をやっていて、一番悩むところが担い手の部分。作業部会のメンバーが固定化しているのも、他の方々の意見がわからない。担い手に上げている団体が本当にいいのか、意見を伺いたい。
- (委員長) 補足すると、考えられる担い手です。ここに挙げたからといって、必ずその団体が行なわなければならないというものではありません。どうやってもここに名前を挙げられても行なえないであるとか、こんな活動も行なっているとかで、ここに名前を挙げて欲しいというようなことがあれば教えていただきたい。
- (委員) ぜひここに名前を入れて欲しいなどの意見があると思います。パブリックコメントまでには、推進協の開催がないということなので、そうすると今回が最後になってしまうので、担い手の部分がこれでいいのか、ご意見を伺いたい。
- (委員) 担い手のこととなると、地域で見ていると育成委員会も自治会も社協の地区部会もてんでんばらばらのように感じる。コーディネートする方があれば、団体の中のリーダーを集めて、うまく事が運ぶんじゃないかと感じる。担い手をひとつにまとめて養成したら、うまく活動できるのではと思う。
- (委員) 市民説明会の中で少し話しの出たコミュニティソーシャルワーカーのような人がいないと、うまくいかないのではないか。
- (事務局) 今のお話で若干補足させていただきます。コミュニティソーシャルワーカーですが区の社会福祉協議会に設置されることを想定しています。社会福祉協議会でも活動計画を策定していて、その中でもコミュニティソーシャルワーカーをおくということを記載しています。市民説明会では四街道の社会福祉協議会で各地区をコミュニティソーシャルワーカーが回って説明をしたという話をしておりました。
- (委員) まず感じたことから。資料には必ずページを入れて欲しい。計画の周知というのがあるが、どのようにして周知するのか。各家庭に各戸配布して周知徹底するのか、その点を検討して欲しい。せっかくいいことを考えているので、それをどうやって具現化するかということまで考えて計画を策定して欲しい。ぜひ作業部会で計画とその先をどうやって実現させていくのかということをお話合せて欲しい。
- (委員長) ご意見としてありがたく伺っておきます。このあと作業部会がありますので、そこでパブリックコメントに出す地域福祉計画の案の説明の作業を行なって、まとめたものをも案として出ささせていただくということで、皆さんにご承知いただけたらと思います。ご承知いただけましたら、拍手をお願いします。
- (一同) 拍手

(委員長) 作業部会に参加したいという方もまだ募集しております。ありがとうございました。

### 議題(3) 広報紙について

千葉市社会福祉協議会稲毛区事務所、高橋主任主事から広報紙の掲載記事について説明。

その後に質疑応答が行われた。主な発言内容は以下のとおり。

(委員) これは回覧でまわるのか。

(事務局) はい、町内自治会の協力を得まして、回覧をさせていただきます。町内会長さんのところに送付いたしますので、回覧のご協力をお願いします。

(委員) 最後のページの事例紹介の部分ですが、連絡先があるといいと思います。

(委員) もう手直しはできませんか。

(事務局) 大きなものは無理ですが、多少の手直しは可能です。

(委員) 連絡先を教えますので、掲載をしてください。

(委員) 同じ事例紹介のところ、最後のお名前の部分、改行のところを途中で切れないうように直しておいたほうがいい。また写真もあまりきれいではない。

(事務局) 改行の部分は訂正します。今、手元にお配りしているのは、コピーですので、もう少しきれいに写真が写るよう調整して印刷させていただきます。

(委員) カラーだとより見やすいのでは。

(事務局) 予算の関係もありますので、白黒印刷とさせていただきます。

### 議題(4) その他について

今後のスケジュールについて、日暮高齢支援係長より、パブリックコメントの募集次期について地域福祉課及川係長より説明。

今回の区推進協議会は2月下旬から3月上旬に開催を予定しています。

事務局が閉会を宣し、第3回稲毛区福祉計画推進協議会は散会。